

# 国保データヘルス計画 の令和3年度評価

平成30年度に策定した第2期伊達市保健事業実施計画（データヘルス計画）について、令和2年度に中間評価と見直しを行いました。令和3年度の実施状況と、計画全体の中間評価の結果をお知らせします。

☎ 国保年金課給付係 ☎575-1198

## データヘルス計画とは？

市町村国保や健康保険組合などの医療保険者が持っている健康・医療情報（診療・医療費・健診データなど）を活用して、効果的で効率的な保健事業を実施するための計画です。

## データヘルス計画の目的とは？

健康・医療情報を活用した保健事業を実施し、生活習慣病を予防することで、加入者の健康格差を縮小することや、**健康寿命を延ばすこと**を目的としています。

## 達成すべき目標は？

### 中・長期目標（平成30年度～令和5年度）

医療費が高額で、長期入院、人工透析、介護認定の要因疾患である「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「糖尿病性腎症」の減少

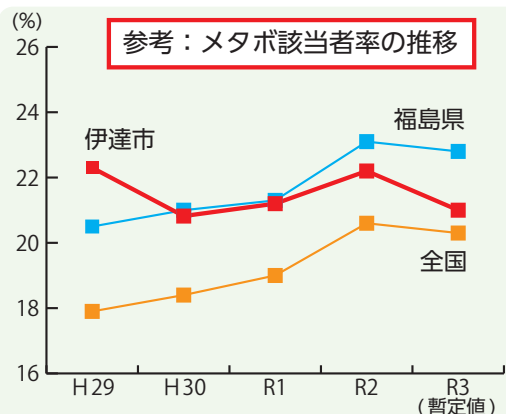


### ▶ 1年ごとに短期目標を設定し達成状況を確認

**短期目標（令和3年度）**…脳血管疾患などの共通リスクとなる「高血圧症」「脂質異常症」「糖尿病」「メタボリックシンドローム（メタボ）」の減少



## R3年度達成状況は？



評価指標		H28年度	R3年度		比較	
		(基準)	(目標)	(実績)		
高血圧	Ⅱ以上(未治療者)	人数(人)	125	125	141	▲16
		割合(%)	3.8	4.0	4.8	▲0.8
糖尿病	HbA1c6.5%以上(未治療者)	人数(人)	149	180	141	39
		割合(%)	3.0	3.8	3.1	0.7
脂質異常症	LDLコレステロール180mg/dl以上(未治療者)	人数(人)	172	144	202	▲58
		割合(%)	4.2	3.8	5.5	▲1.7
メタボ	該当者(2項目以上該当)	人数(人)	1,111	1,097	1,064	33
		割合(%)	20.2	21.0	20.9	0.1

※▲は未到達

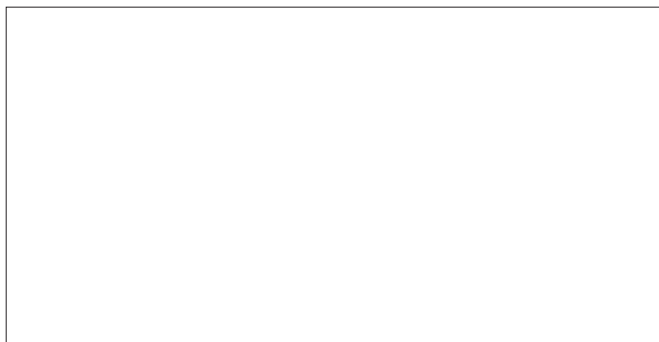
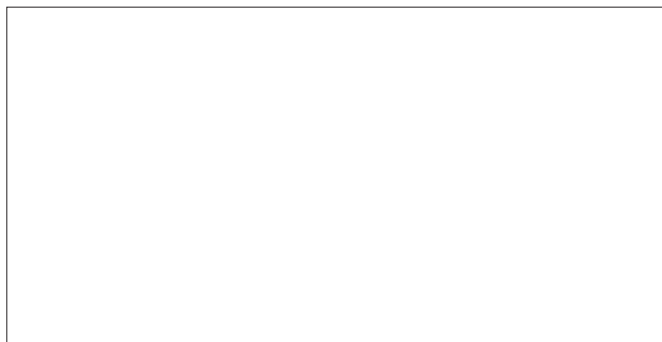
## 令和3年度の評価と今後の事業

新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えがみられた令和2年度と比べて、予約制が浸透し安心して受診できる環境が整ったことで、令和元年度の水準(受診率50.5%)に戻りつつあります。

注目すべきは、メタボ該当者の減少です。該当者数・率ともに目標を達成することができました。

反対に心配されるのが高血圧・脂質異常症の値の悪化です。改善できなければ、再びメタボ該当者の増加につながるものが心配されます。

特定健診は自分の健康状態を知り、病気を早期発見するために重要です。伊達市国保は令和4年度以降も、特定健診受診率の向上を目指し、糖対策を中心に健康に関する啓発や情報発信を実施します。

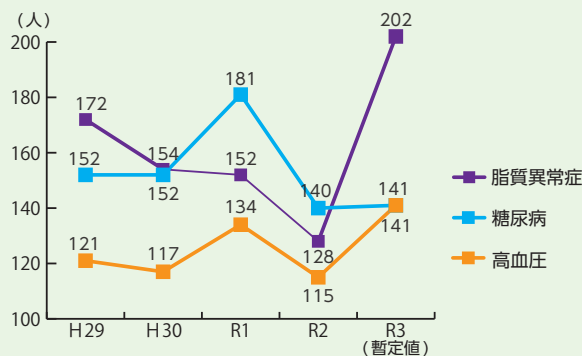


## R3年度の目標ごとの達成状況は？

### 短期目標の評価 「高血圧症」「脂質異常症」「高血糖」「メタボ」の減少

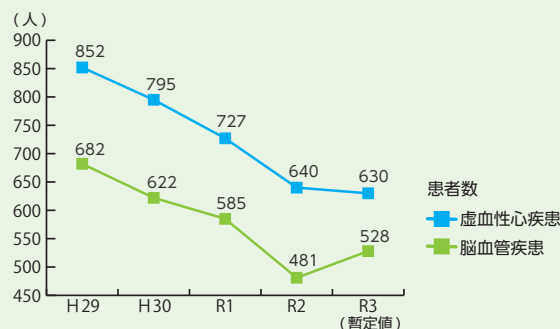
特定健診の結果、メタボ該当者数と率は減少しましたが、ここ数年減少傾向にあった「脂質異常症」の未治療者が大幅に増加しました。

健診により異常値を見つけることができれば、早期に治療や生活習慣改善に取り組むことができます。



### 中・長期目標の評価 「脳血管疾患（脳卒中など）」「虚血性心疾患（心筋梗塞など）」「糖尿病性腎症（糖尿病の合併症）」の減少

生活習慣病のうち脳血管疾患・虚血性心疾患の患者数は減少が続いています。しかし、国保被保険者に占める疾患率は減少せず、4～6%を推移しています。



## データヘルス計画の目的「健康寿命を伸ばすこと」

### 健康寿命とは

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる生存期間のことを表します。

健康寿命が延びて、平均余命との差が縮小するということは、長期入院や介護を受ける期間が縮小するということになります。医療費や介護費の家計への負担が減るだけでなく、

QOL (Quality of Life) = 「生活の質」の向上にも結びつきます。

短期目標を達成し、中・長期目標としている疾患を減らすことができれば、最終目的である「健康寿命を伸ばす」ことにつながります。

